

『課題探究GS』最終発表会を開催

12月24日(金)、ささゆり学園の体育館にて能勢分校3年生全員による「課題探究GS」の最終発表会を行いました。どのグループもそれぞれのテーマに向き合い発表していました。

発表後、大阪府立大学伊井直比呂教授から、『トップレベルの質の高さ』と最高の講評をいただきました。『テーマの対象となる人々や物など様々な立場の点があったこと、「なぜこのテーマにしたか」から始まる発表内容のわかりやすさ、提案も根拠に基づき、探究と実践が結びついていること、発表内容に先端性、例えばQRコードやSNSの利用など、今の高校生ならではの表現があったこと、そしてなにより地域との連携と協働が見られたことが素晴らしかった』と話されました。

3年生にとって、能勢分校での学びの集大成と呼ぶにふさわしい発表でした。

また、この発表は前日に能勢中学生の前でも行い、後輩たちにも見てもらいました。

発表概要

- | | |
|---|--|
| 1. すべての年齢の人が参加する百歳体操の実現 金沢・濱・野田 | 6. シュレッタダストの再利用を考える 大石・小花・安井 |
| 2. 小・中学生の学校生活をより良くするためのサポートについて 基・中原・西山 | 7. ブドウの強摘心栽培が果粒の成熟に及ぼす影響 門・三浦 |
| 3. 能勢町の観光ポスター作成による集客UPへの影響の検証 井上・東田・松尾・古賀 | 8. 農作物被害問題の解決に向けて ~ご当地バーガーで農業を救え!!!~ 野村・福井 |
| 4. 身近な生物への興味・関心を高めるための生き物マップの作成 奥・黒木・中垣内・谷端 | 9. 農業をしやすい「能勢」を作る 岡崎・武田・濱 |
| 5. 地黄湿地の看板作成による保全活動への寄与 瀬川・谷口・辻 | 10. ゼロカーボンタウンの普及 辰野・新谷 |



伊井直比呂氏

★ テーマ『一星一輝～一人一人が輝く星だ～』 文化祭を開催 ★

11月13日(土)、秋晴れの下、文化祭を開催しました。昨年はコロナの影響で、入場者を保護者と関係者に限定していましたが、今年は外部からもたくさん来ていただき、大変な盛り上がりとなりました。各教室では、1年「縁日」、2年「ヴァイキング」、3年「カジノ」とそれぞれが趣向を凝らし、小学生から大人までが楽しめる企画となりました。午後からは場所を体育館に移し、ダンス部のパフォーマンス、学年ごとの演劇を上演しました。熱のこもった演技のみならず、舞台美術も見応えがありました。その他にも軽音部の演奏、文化部の展示、能勢の高校を応援する会の野菜販売、PTA喫茶など、盛り沢山の内容となりました。

今年のテーマにあるように、一人一人が主役となり輝いた一日となりました。



能勢町×能勢分校連携講座を開催（全5回）

- 第1回 10月19日(火) 榎原友樹氏「**㈱能勢・豊能まちづくりの挑戦**」（前号に記載）
- 第2回 10月27日(水) 北村友人氏「**地域に根差した学びと行動**」（前号に記載）
- 第3回 11月29日(月) テーマ：「**能勢版シュタットベルケと脱炭素社会**」
講師：川又 孝太郎氏（環境省）

1年生には「再生可能エネルギーの時代」と題し、再生可能エネルギーについて、なぜ今再生可能エネルギーなのかといったお話から、能勢分校とかかわりのあるドイツのシュタットベルケや新電力についてなどの講義をされました。2年生には「地域のエネルギー資源を用いた地域活性化」と題し、脱炭素社会の実現に向けたドイツの取組みなどについて話されました。ドイツからの留学生、ラッナー・宙希さんが意見を述べるなどのやり取りもあり、ドイツの高校生の再生可能エネルギーに対する考えも知ることができました。



川又孝太郎氏

- 第4回 12月14日(火) テーマ：「**健康で安心して暮らせる地域づくり**」
講師：神出 計氏（大阪大学 教授）

「100歳体操」を主軸に、地域で住民が集まって運動をすることが健康を保つ秘訣であることを、データを交えてお話いただきました。無理のない運動での健康維持、参加することにつながる地域社会など、地域で100歳体操を行うことの有用性をお話になりました。高齢者に限らず、高校生も含め、すべての年齢の人が健康で安心して暮らせる地域とはどのようなものであるかを具体的に考えることができました。



神出計氏

予告

能勢町×能勢分校連携講座を開催！



- 第5回 1月28日(金) テーマ：「**未定**」（決まり次第、能勢町HPに掲載予定）
講師：千葉知世氏（大阪府立大学 准教授）

◎どなたでもご参加いただけますが、事前に能勢町総務課もしくは能勢分校まで電話でご予約ください。

連絡先 能勢町総務課:TEL 072-734-3036 能勢分校:TEL 072-737-0666

令和3年度 GS 課題探究講座

3年GS課題探究基礎講座（総合的な探究の時間）

- 12月6日(月)
講師：林家 染雀氏（落語家） テーマ：「**古典芸能：落語って？**」

上方落語の「上方って何？」から始まり、舞台の「上手下手（かみてしもて）」、「能・歌舞伎」のお話、古典芸能を鑑賞する基本を教えてくださいました。最後に「子ほめ」という落語を聴かせていただきました。

- 12月13日(月)
講師：小林 順子氏（みちくさオーナー） テーマ：「**世界を旅して**」

小林さんが世界を旅し、見てきたその国の環境問題を切り口にして、能勢で起業した理由にも触れ、30年後の自分たちのために今できることは何かを問う講演でした。

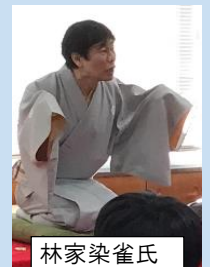
2年GS課題探究重点講座（プレ課題探究GS）

- 12月20日(月)
講師：白石 奈津子氏（大阪大学大学院講師）
テーマ：「**フィリピンの農村での取組み**」

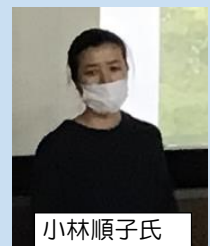
白石先生はもともと大学で農業経済を学んでおられ、フィリピンの農村をフィールドに研究されていました。貧困問題を解決するための、フィリピンでの農村の在り方、どのように農業を営んでいくべきかについて話されました。

- 12月23日(木)
講師：北岡 志織氏（大阪大学大学院講師）
テーマ：「**ドイツの演劇と難民問題**」

ドイツの演劇界は、難民・移民問題を解決するため、演劇の上演を通じて市民が問題と向き合う機会を提供しています。留学生、宙希さんの住むハンブルクの劇場を例に挙げ、お話いただきました。ドイツの難民について知る良い機会となりました。



林家染雀氏



小林順子氏



白石奈津子氏



北岡志織氏

1年GS課題探究基礎講座（産業社会と人間）

➤ 11月12日(金) 講師：藤田 美保氏（箕面こどもの森学園 園長）
 テーマ：「SDGsカードゲーム」

持続可能な開発目標(SDGs)を理解するため、「2030SDGsカードゲーム」を通して、世界での経済、環境、社会の繋がりとという全体像をわかりやすく学びました。SDGsの実現を考える良い機会となりました。

➤ 12月6日(月) 講師：廣畑 徹氏（元麻薬取締官、近畿大学医学部非常勤講師）
 テーマ：「薬物乱用」

麻薬取締官としての経験をもとに、薬物の種類や、乱用の影響について話されました。密売組織は世界に広がっており、国によって法律も異なることを学びました。ここでもグローバルな考えや知識が重要であることを学ぶ機会となりました、



斎藤和子・テリー氏

➤ 12月21日(火) 講師：斎藤 和子・テリー氏（エスパーロ能勢）
 テーマ：「フェアトレードの仕組み」

箕面で営んでいたフェアトレードショップを能勢に移転し、古民家を改築して、カフェ&フェアトレードショップ『エスパーロ能勢』をオープンされました。フェアトレードの仕組み、世界での児童労働の状況、海外での生活、これからやってみたいことなどについてお話いただきました。



藤田美保氏



廣畑徹氏

中学生が能勢分校に体験入学

11月4日(木)に能勢中学校の1年生が、12月3日(金)に2年生が体験授業に能勢分校を訪れました。中学とは違った高校ならではの科目の細分化の話聞いたのちに、分校の農場を見学し、さまざまな授業を体験しました。

中学生に向けた土曜講習を行っています

中学生が能勢分校での授業やクラブ活動を体験する、『土曜講習(全7回)』が始まっています。能勢中学生徒の他、大阪府下からの参加も多数ありました。中学生にとっては高校での学びがどのようなものかを知ることのできる、有意義な時間となっています。

能勢分校がメディアで紹介されました！



能勢町の広報誌「広報のせ11月号」の表紙、中面に里山留学プログラムを行うチーム「SATOYAMA」の活動について掲載されました。



12月2日(木)の朝日新聞北摂版のページに、「豊中高能勢分校生徒 安全や環境 東大研究者らと」電動自転車で通学 地域の課題探る」という見出しで、地域魅力化クラブが取り組むe-bikeプロジェクトについて紹介されました。



11月9日(火)のMBS放送「よんちゃんTV」ニュース内で、3年生「総合的な探究の時間」での労働問題や成年年齢の引き下げについての講義の様子、1年生「現代社会」の授業の様子、「現代社会」が「公共」に変わることにについての先生へのインタビューなどが放送されました。この様子は下記のURLからご覧いただけます。

<https://www.mbs.jp/4chantv/news/kodawari/article/2021/11/086419.shtml>

能勢小学生と

皆と人 さんには、

二月の留学期間のことと言法に於て、
能勢帯在の最終日にこの手紙を書いた。
この間の留学中、色んな事を学んで、経験も
して、人へ仲良くして、最高の二月
でした。日本の学校生活と言う物を
経験できて、とても大切に思い出に
能勢という美しい町に、とても
付いてたなと思えます。この思い出を
すべて大切にします。お世話になり
ました。お土産に行きたいです。
ふたつ 富永より

あけまして
おめでとう
ごきげんよう

旧年中はお世話になりました
本年もどうぞよろしくお願いいたします

四
年
新
年

『あけましておめでとうございます。今年こそギムナジウム（高校）を無事卒業したら、能勢に遊びにいき
たいと思っています。今年もよろしくお願いします』
白井 ヤンより

ホストファミリーと